

2019 年度

公益財団法人東京子ども図書館

年次報告

〒 165-0023 東京都中野区江原町 1-19-10

2020 年 7 月発行

Tel. 03-3565-7711 Fax. 03-3565-7712 URL <https://www.tcl.or.jp>

“公益” の新たな可能性を求めて

理事長 張替恵子



YouTube 配信より

今年 10 月 1 日、当館が内閣総理大臣より公益財団法人の認定を受けてから 10 年となります。4 つの家庭文庫がより安定した活動ができるように、東京都教育委員会から財団法人の認可を受けたのは 1974 年。それから 30 余年、公益法人制度改革関連三法が制定されたのを機に、ご寄付をくださった方が税金の控除を受けられる公益財団法人への移行を決断。申請準備に明け暮れたことが、ついこの間のようであり、はるか昔のようにも感じられます。

この 10 年、図書館運営、人材育成、出版といった通常業務に加え、新規プロジェクトや記念事業も途切れなくあり、なんと濃密な日々が過ぎていったことでしょう！ 移行から半年もたたずくに起こった東日本大震災。その復興支援としてスタートした「3.11からの出発」、「おばあさんのいす」から派生した「在日日系ブラジル人の子どもたちへの読書支援」、松岡享子理事長の喜寿を祝う Happy77、かつら文庫の改修と一般公開、財団設立 40 周年記念事業、理事長交代、「石井桃子生誕 110 年・かつら文庫 60 周年記念企画」……。刊行した出版物は、多くの力を結集した児童図書館基本蔵書目録『絵本の庭へ』『物語の森へ』をはじめ 26 点、カレンダーやカード、付箋、手ぬぐい等のグッズは 47 点にのぼります。「月例お話の会」は 500 回、「昼のお話会」は 100 回の節目を迎え、「お話の講習会」の修了生は 1000 人を突破しました。

そして、10 周年目前に、私たちを揺さぶったのは、未知のウイルス感染という脅威でした。ひとりひとりの子どもに密に接し、物語の世界をともに旅したり、なぞなぞを出し合ったり、わらべうたに興じたりという、当たり前のことができなくなる。そのあっけないほどの無力感。しかし、その次にこみあげてきたのは、友だちにも会えず、不安をかかえたまま家にいなければならない子どもたちとその傍にいる親御さんに、今だからこそ本のたのしみを届けたいという強い思いでした。SNS による発信に素早く取り組めたのは、自発的な志を思うままに形にできる「私立」の特性を生かせたからであり、そこから新たな「公益」の可能性も見えてきました。これからも繰り返されるであろう緊急事態に向けて、私たちのできる「公益」とは何かを問い合わせしつつ、失敗を恐れずに挑戦していくこうと、決意を新たにしています。



昼のお話会が100回、月例お話の会が500回を迎えました！

● 昼のお話会100回記念チャリティ、月例お話の会500回記念チャリティ

2019年度は、当館のお話の活動にとって節目の年でした。1972年に始まった「月例お話の会」が12月に500回、1991年に始まった「昼のお話会」は7月に100回を迎えたのです。これを祝してチャリティお話会を開催しました。

7月12日の「昼のお話会100回記念チャリティ」では、これまでの出演回数が多いゲストの語り手と職員が、過去99回で語られたお話の中から選んでプログラムを組みました。お申込み多数により急遽午後の部を設けました。（参加 午前の部66名 午後の部64名）

12月24日の「月例お話の会500回記念チャリティ」では、当館の役員・職員が、今まで活動をお支えくださったみなさまへの感謝を込めて、それぞれ愛着のあるお話を語らせていただきました。全国からいらしたお客さまとともに、この47年間のお話の広がりを実感する幸せなひとときとなりました。この会の模様は、映像作家の森英男氏に撮影していただきました。（参加者 第1部73名 第2部73名）

これらのチャリティお話会の収益は「子どもたちに本を贈ろうプロジェクト」に用いられます。12月の会にも定員を超えるお申込みをいたいたため、急遽追加の会を計画しましたが、新型コロナウイルス感染拡大により中止となりました。

・月例お話の会：全9回開催（3月は中止）参加者は延べ572名

・昼のお話会：全5回開催 参加者は延べ335名

冬の会では、第23期お話の講習会修了生に語っていただきました。



挨拶をする松岡享子名誉理事長



「月例お話の会500回記念チャリティ」は、クリスマススイーツでした。

今後、「月例お話の会」「昼のお話会」は、従来の午前と夜の時間帯に加え、午後の部も設け、それらを合わせて「おとなのためのお話会」という名称で再出発いたします。今まで以上にみなさまのお力を借りて、語り手の輪をつなぎ、語りの質を高め、刺激し合える場として発展することを願っています。

チャリティお話会に合わせてプログラム集を刊行！

●『おはなし 聞いて語って

——東京子ども図書館 月例お話の会 500回記念プログラム集』

月例お話の会で語られたお話のプログラムを、第1回（1972年1月）から、第500回（2019年12月）まで、すべて収載しました。内容は、お話の題名、出典、語り手、会場など。また、月例お話の会が始まる前から開かれていた“お話をたのしむ会”的1回（1967年12月）から第11回（1978年12月）のプログラムも併せて収載しました。前書きは松岡名誉理事長が「おはなし万歳！」と題し執筆、巻末には、お話索引と出典リストを付しました。カラー口絵（8頁）では、手作りのプログラムなどがご覧いただけます。急ピッチの編集に際しては、佐藤苑生さんと山田純子さんに多大なご協力をいただきました。

12月の500回記念の会より発売を開始し、2ヶ月にして2,200部を出荷するなど、好調な売れ行きでした。



東京子ども図書館編
A5判 224p
定価 1500円（本体1364円+税）
ISBN978-4-88569-215-4



記念グッズも好評です



月例お話の会 500回記念

当館応援缶バッジ

ご寄付（500円以上）をくださった方に、ひとつ差し上げています。
新柄2種類を作りました。



『おはなし 聞いて
語って』
表紙の柄

ろうそく柄

昼のお話会 100回記念

大社玲子絵
3センチ×10メートル
定価：本体600円+税

ホットケーキ

マスキングテープ

『愛蔵版おはなしのろうそく9』
より、人気のお話「ホットケー
キ」の挿絵で、幅広のマスキン
グテープを製作しました。

一年のあゆみ

4月

- ・第36期お話の講習会開講（5日）

5月

- ・児童室こどもの日開館（5日）
- ・きいてたのしむ“よみきかせ”スペシャル（16日）
- ・かつら文庫読書会と池田正孝氏S&T（24日）

6月

- ・児童図書館員のための初級研修プログラム（8日、他6回）
- ・中野区立江原小学校でお話（6日、11日、12日）
- ・池田正孝氏S&T（28日、10/11）
- ・山内玲子氏講演会（28日）
- ・ブックトークカフェ・なないろ（29日、11/30）
- ・「子どもと図書館 今、世界は——各国の取組から」報告会（児童図書館研究会との共催）（30日）

7月

- ・昼のお話会100回記念チャリティ（12日）
- ・杉並区立桃井第二小学校でブックトーク（13日）
- ・短期お話の講習会（18日、9/5）
- ・児童室夜のお話会（20日）
- ・茨城農芸学院でお話（31日）

8月

- ・ブックトーク祭り＆子どもの本・蚤の市（2日、3日）
- ・ブックトーク・ワークショップ（22日、23日）
- ・児童図書館員のための初級研修プログラム公開講座（24日）

9月

- ・『本よんでもらってうれしいさん』刊行（5日）
- ・川崎康男氏・古川信夫氏講演会（20日）
- ・中野区立江古田小学校でお話（25日、26日、27日）

10月

- ・梶原由佳氏講演会（26日）

11月

- ・バザー（23日）

12月

- ・かつら文庫クリスマス会（14日）
- ・児童室クリスマス会（21日）
- ・月例お話の会500回記念チャリティ（24日）
- ・『おはなし聞いて語って』刊行（24日）

1月

- ・学習院初等科でお話（17日）
- ・練馬区立豊玉東小学校でお話（28日）

2月

- ・『あたまをつかった小さなおばあさん』続編刊行記念・朗読＆トーク（6日）
- ・第35期お話の講習会修了お話の会（11日）
- ・かつら文庫『三月ひなのつき』朗読会（27日）
- ・YouTube動画「東京子ども図書館 おはなし配信」投稿開始（29日～）

3月

- ・新型コロナウイルス感染拡大防止のため休館（27日～）

I 概況

今年度の大きな出来事は、「昼のお話会」が100回を、「月例お話の会」が500回を迎えたことです。両会ともに記念のチャリティお話会を開催、全国各地からおいでくださった大勢のお客さまとともに、お祝いすることができました。これを記念し、『おはなし 聞いて語って——東京子ども図書館月例お話の会500回記念プログラム集』を刊行、たくさんの方にお買い上げいただきました。

新たな試みを始めることの多い年となりました。そのひとつが、乳幼児をもつ保護者向けに製作したブックレット『本よんでもんでもらってうれしいさん』です。一般財団法人日本宝くじ協会の助成を受け、60,000部を無料配布しました。子育てに、わらべうたや絵本をたのしく取り入れるためのヒントとなることを願っています。

また、ブックトークに気軽に親しんでいただく、聞いて楽しむ会「ブックトークカフェ・なないろ」を、ブックトーク・ワークショップ講座の修了生有志から成る「虹の会」と共催し、好評でした。

『絵本の庭へ』『物語の森へ』の掲載本を新たな読者へ橋渡しする「あなたの本を次代の子どもへリサイクル」も試行し、「子どもの本・蚤の市」にて販売しました。

外部との連携では、少年院・茨城農芸学院でお話会をしたほか、小中学校等にホームページを無償で提供するプロジェクトedumapに、本の紹介等で協力しました。

児童室とかつら文庫は、新型コロナウイルスの影響もあり、来館人数が減少しました。児童室で4年前から始めた、3歳未満の子どもをもつ保護者を対象にした「プレ登録」の利用が伸び、少しづつ定着している様子もみられます。

蔵書データベース公開に向け、ここ数年、元都立図書館の方々に遡及入力等の作業にご協力をいただいておりますが、公益財団法人図書館振興財団の助成も受け、来年度から一部公開できることになりました。

児童図書館基本蔵書目録3『知識の海へ』は、2021年刊行に向けて編纂作業を急ピッチで進めています。

広報の面では、2月末からの各地の休校措置に鑑み、YouTube「東京子ども図書館 おはなし配信」として、読み聞かせ・ブックトークの動画配信を試みました。多方面から大きな反響をいただいております。

新型コロナウイルス感染拡大の影響により、2月下旬から様々な対応に追われました。財政面では、厳しい状況が続くことが予想されます。職員一丸となって、かつてないこの苦境を乗り越えていきたいと思っております。どうぞ、引き続きご支援をお願いいたします。

■財務諸表

貸借対照表 令和2年3月31日現在 (単位:円)

科 目	金額
I 資産の部	
1. 流動資産	
現金預金	41,996,315
売掛債権	4,726,832
販売用図書	24,216,853
機関誌	2,068,309
流動資産合計	73,008,309
2. 固定資産	
(1) 基本財産	
土地	361,224,400
建物	201,061,560
著作権	39,253,978
定期預金	40,000,000
基本財産合計	641,539,938
(2) 特定資産	
プロジェクト積立資産	1,116,624
公益事業運営積立資産	49,881,384
特定資産合計	50,998,008
(3) その他固定資産	
構築物	124,357
什器備品	2,785,901
図書	51,950,285
電話加入権	214,363
その他固定資産合計	55,074,906
固定資産合計	747,612,852
資産合計	820,621,161
II 負債の部	
1. 流動負債	
未払金	390,773
前受金	4,616,308
前受会費	8,307,200
預り金	1,009,697
流動負債合計	14,323,978
負債合計	14,323,978
III 正味財産の部	
1. 指定正味財産	
民間助成金	42,859
寄付金	1,073,765
指定正味財産合計	1,116,624
2. 一般正味財産	
正味財産合計	805,180,559
負債及び正味財産合計	806,297,183
負債及び正味財産合計	820,621,161

正味財産増減計算書

平成31年4月1日から令和2年3月31日 (単位:円)

科 目	当年度
I 一般正味財産増減の部	
1. 経常増減の部	
(1) 経常収益	
①基本財産運用益	12,261,162
基本財産受取利息	19,910
基本財産受取印税	12,241,252
②特定資産運用益	704,250
特定資産受取配当金	704,250
③受取会費	15,121,400
賛助会員受取会費	15,121,400
④事業収益	56,908,174
機関誌購読料収益	7,160,047
講習会・講演会・お話会収益	4,719,556
展示物閲覧料収益	103,500
講師料収益	6,467,180
登録料収益	41,000

科 目	当年度
施設使用料収益	337,000
著作権使用料収益	399,603
出版物売上収益	36,972,379
取材・資料協力収益	707,909
⑤受取補助金等	5,277,141
受取民間助成金	5,277,141
⑥受取寄付金	18,272,395
一般寄付	17,272,822
指定寄付	670,412
図書寄贈額	329,161
⑦雑収益	340,548
受取利息	477
雑収益	340,071
経常収益計	108,885,070
(2) 経常費用	
①事業費	
人件費	58,679,554
図書館費	371,134
機関誌発行費	5,254,886
講習会・講演会・お話会費	1,452,811
調査研究費	606,505
人材育成費	194,152
催事費	22,431
広報活動費	870,010
子どもたちに本を贈ろう事業	3,103,964
出版費	14,515,756
在日ブラジル人・読書支援活動	360,268
3.11からの出発	442,932
一般諸費	4,991,192
減価償却費	7,333,782
諸会費	37,000
租税公課	4,157,200
貸倒損失	32,405
②管理費	11,654,361
人件費	8,217,439
会議費	46,308
一般諸費	2,368,744
減価償却費	909,535
諸会費	109,520
租税公課	2,815
経常費用計	114,080,343
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 5,195,273
特定資産評価損益等	8,348,427
評価損益等計	8,348,427
当期経常増減額	3,153,154
2. 経常外増減の部	
(1) 経常外収益	
経常外収益計	0
(2) 経常外費用	
固定資産売却損	9
経常外費用計	9
当期経常外増減額	△ 9
税引前当期一般正味財産増減額	3,153,145
法人税等	70,000
当期一般正味財産増減額	3,083,145
一般正味財産期首残高	802,097,414
一般正味財産期末残高	805,180,559
II 指定正味財産増減の部	
受取民間助成金	5,320,000
受取寄付金	1,744,177
一般正味財産への振替額	△ 5,947,553
民間助成金	△ 5,277,141
寄付金	△ 670,412
当期指定正味財産増減額	1,116,624
指定正味財産期首残高	0
指定正味財産期末残高	1,116,624
III 正味財産期末残高	
	806,297,183